

# 委員会報告

2011～2012年度

NO.1

第 1 回

委員会名	法人化検討委員会
委員長名	L 池田 和司

開催日時	2011年 8月 2日 火曜日 16時 00分～ 時 分			
開催場所	キャビネット事務局会議室			
出席者	○	大石地区ガバナー	阿久津第1副地区ガバナー	鈴木第2副地区ガバナー
	○	L 池田 委員長	L 副委員長	L 副委員長
	○	L 元田 副委員長	L 委員	L 委員
	×	L 野村 副委員長	L 委員	L 委員
	○	L 吉田 副委員長	L 委員	L 委員
	○	L 水津 委員	L 委員	L 委員
	×	L 出口 委員	L 委員	L 委員
	○	L 家喜 委員	L 委員	L 委員
	○	L 山本 委員	L 委員	L 委員
	×	L 大橋 委員	×	L 今井 委員
	○	L 岩村 委員		
	出席オブザーバー			
	○	L 橋本 キャビネット副幹事		
次第	司会・進行 L			
	1	ガバナー挨拶(委員長挨拶)		
	2	前回議事録確認		
	3	キャビネット報告(担当副幹事)		
	4	審議 別紙議題による		
	5	日程確認・調整		
	6	次回開催確認		
議題	審議経過事項の概要			
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
次回開催日時	2011年 9月 6日 火曜日 16時 00分～ 時 分			
場所				

作成者	L 岩村 浩秀
-----	---------

議題	審議経過事項の概要
池田L	委員長挨拶があり、今後の抱負について各メンバーの意見効きたい旨の話がありました。今日は、フリーディスカッションベースで皆さんの考え方を聞きたいと思います。
	以下、フリーディスカッション
元田L	目的が非常に大きな話である。従って対国際協会・330A会員の気持ち、大石ガバナーの意向等を考慮のうえ取りまとめたい。
岩村L	キャビネットに出るのは初めてのことなので、学んで帰りたい。
橋本L	担当副幹事として支えていく。
吉田L	幅広く捉えていかねばならない。
家喜L	法人化については、過去の経緯から賛同しているが、実際にできたライオンズ財団の方向性に自分の意思とは違方向に向かってしまったので、日本ライオンズも含めて法人化できるよう検討していきたい。
山本L	勉強しながらすすめてみたい。
大石 ガバナー	本委員会は、今期の330-A地区にとって大切な委員会であり、今後の日本ライオンズに対しても重要な影響を及ぼす可能性のある委員会ですのでぜひ良い意見をご検討いただきたい。 又、山浦国際理事の話では、震災絡みでの基金を設立したいが、法的にも信用力としても、法人化しないと困難である。そのためには、
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①日本で法人を作る経済的合理性があるか？</li> <li>②運営能力があるのか？</li> </ul>
	前回の法人化の動きに対して以上2点の問題が国際ライオンズ協会でも問題とされたようです。従って、今回の震災対応においては
	<ul style="list-style-type: none"> <li>a) 外部の協力が、法人化されないため運営できなかった。</li> <li>b) ライオンズメンバー自身がだす、高額義援金出さず、結局赤十字に出してしまった。</li> </ul>
	(税法上の恩恵が得られるような法人ではない為、受入れ先になれなかった)
山本L	法人化することがメンバーにどういうメリットになるのかをきちんと把握するのが課題である。
大石 ガバナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>①大きな金を寄付したいが法人化されないため、節税効果がない。</li> <li>②外部資金の導入</li> <li>③メンバーの意識の向上</li> </ul>
岩村L	日本のライオンズの組織の中で、どのレベルの組織を法人化するかによって税務上の対応が変わると思われます。
池田L	結果として、地区・複合・全国を対象に考えていくのが方向性としては正しいと思われる
元田L	公益認定を前提でなければ困難である。そもそも国際協会は認める気があるのか？ →池田：ドイツ・韓国がどういった経緯で法人化できたのか情報を集める必要がある。 全国レベルの法人化については、了承を得られるのではないかと？(by山浦理事)
池田L	最大の問題点は運営能力ではないか？ 現実的には330-Aの事務局にしても、一般社団330-A支援会にしても→実質的な活動が出来ていない。経理は東京LCの板下税理士が行っている。
大石 ガバナー	日本全体の法人化であれば、ある程度のルールで運営していく事が可能と思える。 ・震災孤児を学校卒業まで面倒を見るファンドを作りたい。

- ・ 国際協会とバッティングしない方向性ならば可能ではないか？  
個別目的に基づく事業で固定しては？(薬物乱用・青少年の健康育成等・環境問題)・  
LCIFでは環境問題で申請しても認めない。

元田L 特定の目的だけの財団にしてしまうと個別のクラブを取りまとめる法人となりにくい。

以上フリーディスカッション終わり

(次回第2回目議題)

- ・ドイツまたは韓国で成功した法人化への取組及び申請状況の把握  
定款等の入手について ⇒ 吉田Lが収集(過去の法人申請を含む)する
- ・公益性と目的そして各クラブとの整合性について ⇒ 元田Lがとりまとめとなる

(次回期日)

9月6日(火)毎月第1火曜日 16:00 ~ 17:00

場所:キャビネット事務局 (年内全部) 案内状は原案作成はL岩村・池田L宛に

12月は忘年会を行ないたい。⇒ 別途日程を考慮する。

10月4日(火) 16:00

11月1日(火) 16:00

12月6日(火) 16:00

平成24年以降は追って決定